全4回　オンライン講演会

わたしたちの難民問題2026

開催日時

11/25(水) 12/2(水) 9(水) 16(水)

19:00~20:30

定　員 各回40名　**参加費** 無料

紛争や迫害を逃れ、家を追われた難民や避難民が、世界各地に約1億2000万人いるといわれています。日本にもさまざまな国から難民が庇護を求めてきています。難民の状況を知り、私たちにできることは何か、一緒に考えてみませんか。

開催場所 オンライン（ZOOM）開催
※申込者には当日の〈招待URL〉をお送りします

申込方法 右記のQRコードまたはURLより申込みフォームへお進みください ※要事前申込(各回の前日17時に〆切)

https://forms.gle/nE3Tx38zCgqguhCr7

11月25日（水）

「なぜ私は祖国を離れたのか ～ミャンマー難民が語る日本での歩みと挑戦～」

ラムマンさん(難民事業本部)

ミャンマー出身のラムマンさんから、祖国を離れ、日本で難民として認められるまでの歩み、日本語学習や大学進学への挑戦について聞きます。そして現在の難民を支援する立場で見た、日本で暮らすミャンマーの人々の現状や課題について、当事者と支援者、二つの視点から、難民受け入れと共生社会について考えます。

12月2日（水）

「難民保護・支援システムの危機」

小俣直彦さん(オックスフォード大学国際開発学部准教授)『世界難民危機』著者

本国への帰還、現地統合、第三国定住という「恒久的解決」が機能不全に陥るなか、難民として暮らす期間は長期化しています。各国はこの問題にどのように向き合っているのでしょうか。世界各地の難民支援の現場を知る講師から、各国の対応と国際的な難民保護の課題について伺います。

12月9日（水）

「難民申請の現場から見える日本の課題と支援のかたち」

田中恵子さん(RAFIQ 難民との共生ネットワーク代表)

迫害から逃れて日本にやってきた人々は、どのように難民認定を申請し、審査を受けるのでしょうか。そして、認定を待つ間、どのような生活を送り、何を必要としているのでしょうか。医療、住居、食料、日本語、難民申請手続き支援など、申請者に寄り添った支援を続けてきた団体の活動から、日本の難民認定制度の現状と課題を考えます。

12月16日（水）

「シリア難民とトルコ社会 共生と帰還のゆくえ」

伊藤寛了さん(帝京大学経済学部准教授)

世界最大規模の難民受入れ国であるトルコは、2011年以来シリアから多くの難民を受け入れてきました。トルコの難民政策や支援の実態、難民が地域社会で暮らす中で進む「社会統合」の現状と本国帰還の動向について長年トルコを研究する講師から、現地調査の成果も交えながらお話しいただきます。

⚠ 講師、内容は予告なく変更する場合があります

主催 難民事業本部関西支部　078-361-1700　kansai@rhq.gr.jp
神戸YMCA国際・奉仕センター　078-241-7204　houshi@kobeymca.org
日本国際連合協会兵庫県本部　078-230-3090　hia-ex-co@net.hyogo-ip.or.jp

協力 兵庫県国際交流協会